

中野区議会議員・無所属



たつのご通信 VOL.31

2019・立春号

不安と孤立を見捨てない

石坂わたるの

http://www.ishizakawataru.jp/ @ishizakawataru office@ishizakawataru.jp

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758 【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885 (無所属控室)

さまざまな人をありのまま受け入れるまちをつくりまします。



年金・介護・保育などの社会保障や、税金などの制度が大きく変わる中、不安や孤立を抱えている人が増えています。また、中野区においては区長やそれを推薦する政党の入れ替りもあり、区の財政や公共サービスも大きく変わろうとしています。そうした中で、国政の動きや党利党略に縛られない、多様な区民の声を反映できる無所属議員の議席を区議会において確保していくことが必要です。無所属議員の中でも、石坂わたるはLGBT当事者として生きづらさを感じてきた自身の経験を踏まえながら、失業・求職中の方、生活困窮者、障がい児・者、外国人や、それらのご家族の方などを支援したり、一緒に地域活動や社会を変える活動をしてきました。石坂わたるは、中野区議会で唯一のソーシャルワーカー(福祉)に関する国家資格を持つ専門性のある現職議員です。そして、極端な方向に偏ることなく、全ての党派と超党派での取り組みを進めてきました。私の原点は多様性のある中野をすることです。33万人の区民一人一人が安全安心に暮らし未来に希望が持てる中野を一緒に作っていきましょう。

実現しました!

- ① 同性パートナーシップ制度の開始
② 保健・福祉・子育て支援の総合窓口の24時間緊急相談体制向上
③ パラリンピック種目の練習にも使える新体育館を開設

実現させます!

- ① 「要支援」や認知症の方へ支援拡充
② ハラスメントや生活困窮などへの支援拡充
③ 生活困窮者や非正規で働く若者支援

石坂わたるの議会質問



一般質問

- ▶ 当事者本人の声を聴くことが必要!
▶ 子どもたちが制服を自由に選べる工夫を。
▶ 重度障がい児の通学や学びにおける障壁の解消!
▶ 多様な家庭の存在が当たり前の社会へ!

- ▶ サンプラザ後継施設の学会対応やユニバーサルデザイン化を。
▶ 代替施設が不十分なままの障がい者施設(知的障害者生活寮・障害者(児)緊急一時保護)廃止には反対!

少子高齢化対策調査特別委員会

▶ 不妊治療助成は対象を広げる時。
現在検討中の不妊治療費等助成の対象外となる見込みのAID(ドナーから精子提供を受ける人工授精)についても今後対象に広げられるよう、制度開始後も調査・研究・検討を行うことを求めました。

建設委員会

▶ 平和の森公園の計画についての話し合いや合意形成はこれで大丈夫?
新区長の平和の森公園二期工事の新案は沿路のゴムチップ舗装等により低木1万2千株、中高木57本の樹木の伐採をする内容であるのに、「現状の草地広場を含めていじらない、現行のまま」との印象を多くの人に与えている問題を指摘しました。

私は少し変わったところのある我が子の子育てや学校の対応に悩んでいました。石坂さんは養護学校教員の経験があり、またその生い立ちからも障がいのある子どもの生きづらさを良く理解し、色々とお力になってくださいました。



石坂わたるさんと私たち

中野1丁目在住 高橋美菜子

帝京平成大学中野キャンパス在学 元議員インターン生 寺橋夏輝
「不安と孤立を見捨てない」私は、この言葉が石坂さんの普段の姿を本当に良く表していると感じています。

石坂わたる プロフィール
成蹊大学経済学部卒業、千葉大学特殊教育特別専攻科発達障害教育専攻修了、立教大学21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了、旭出養護学校教諭、豊島区立教育センター、中野区立第七中学校、第十中学校障害児児・助員、専門学校非常勤講師などを経て無所属の区議会議員(2期目)。

- ▶ 推薦します! (敬称略 50音順)
池田祥子(元子ども教育宝仙大学教授) 上鷺宮2丁目在住
犬童一利(映画「カミンクアウト」監督) 新井4丁目在住
大和田怜(会社員) 中野4丁目在住
加藤幸良(介護福祉士) 白鷺2丁目在住
木村俊弘(高次脳機能障がい当事者) 野方2丁目在住
佐々木陽子(LLCてくてく代表・介護福祉士) 中野1丁目在住
佐藤雅則(東京都ペアレントメンター) 野方3丁目在住
志治美世子(ノンフィクション作家「ねじれ-医療の光と影を越えて」) 白鷺3丁目在住
白根洋子(社会デザイン学会理事・音楽ファシリテーター) 中野1丁目在住

- 高橋美菜子(学校支援ボランティア)
谷山廣(若者・性的マイノリティ・ひとり親・自殺防止等相談支援員) 弥生町在住
常岡浩介(ジャーナリスト) 中野6丁目在住
寺橋夏輝(帝京平成大学中野キャンパス学生) 中野4丁目在住
徳本裕之(Bar ZATTAマスター) 上高田3丁目在住
渡部又兵衛(ザ・ニューズペーパー代表) 中野区内在住
永野靖(弁護士) 中野区内在住
服部敦・とら(写真家・カフェ&バー経営) 大和町1丁目在住
原在輝(自営業) 南台2丁目在住
福田源治(東京都行政書士会元副会長・東京都行政書士会中野支部相談役) 本町4丁目在住
ラテル真紀(自営業) 新井2丁目在住

中野区議会内では、無所属議員控室にいます。ご相談・ご意見をうかがいます。
お話をうかがいます

★たつのご通信は年4回の発行をしております。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけましたら幸いです。

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(オーディオCD/DAISY CD)をご用意できます。

メールニュース 配信! 議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。 office@ishizakawataru.jp

すべてのお問い合わせはこちら!
TEL&FAX 03-6304-8758 (事務所)
office@ishizakawataru.jp



不安と孤立を見捨てない **石坂わたる**

いしざか 石坂わたるから、あなたへ

若い世代のみなさんへ

若い世代が地域で活躍できる場を作ります。また、若者が不安を抱えこまずに、困りごとを解消できる中野を作ります。

子育て中のみなさんへ

育児不安や育児疲れを抱えている人が増えています。子育てを支える機会を増やし、変則勤務の人や、仕事をしていない人も子どもを預かってもらえるしつみを整えます。また、妊婦や子連れ、ベビーカーを使う方が安全安心に歩きやすい中野にします。

介護をしているみなさんへ

介護の孤立を防ぎ、介護と福祉と地域の支えあいのしくみで介護者もサポートできる中野にします。家族に代わって介護を行ったり、高齢者の生活を支えたりする人を育成します。

行政・公的機関の現場で働くみなさんへ

公務員や業務委託などで働く人が、働きやすく意見を表明しやすい環境を作り、熱意・能力・独創性が活かされ、評価される組織づくりをさらに後押しします。正規・非正規職員の格差や公・民格差、官製ワーキングプアの解消にも取り組みます。

高齢者のみなさんへ

年をとっても、一人暮らしになっても安心して暮らせる中野にします。年齢に関わらずに地域で活躍をしたい、働き続けたい、住み続けたいという希望が叶う中野にします。

障がい児・者やご家庭のみなさんへ

障がいを持つ人の発言・自己決定・参加の機会を増やします。また適切な情報をわかりやすく得ることや、意思表示をすることの支援を進めます。

障がい者の方のサポートで防災訓練に参加



災害や生活の安全が気になるみなさんへ

様々な人の必要や希望に応えられる災害避難所や災害に強いまちを整備します。

中小企業・個人事業主のみなさんへ

起業、事業の維持・拡大、事業内容の変更や新たな事業の立上げ、後継者支援などを進めます。また、従業員の日常生活や地域貢献を大切にする事業者を応援します。



妊婦体験



ひとり親家庭のピクニックに参加

まだ選挙権のない子どものみなさんへ

一人一人が大切にされる学級環境を創るとともに、教室の外や学校外の居場所を増やし、「安心していられる」と感じられる地域にします。また、様々な子どもたちが安全に駆け込める場所や安心して相談ができる人を増やします。児童生徒や若者向けの性感染症等の予防の取り組みを進めます。

けがや病気でお困りのみなさんへ

けがや病気で自力で移動が難しくなった方への支援を拡充します。HIV、肝炎、全ての糖尿病、オストメイトの方などのくらしの支援と差別や偏見の解消を進めます。児童生徒や若者向けに人権啓発の取り組みを進めます。

LGBTのみなさんへ

同性パートナーシップ制度が実現しましたが、制度の改善を進めます。LGBTが陥りやすい精神的、社会的なつまずきや孤立を防ぎ、相談がしやすく、支援を得やすい中野にします。

中野区観光キャラクター「クルトン中野」と



中野区食育キャラクター「うさごはん」と



子どものいるLGBT家庭について]の勉強会

海外にルーツのあるみなさんへ

海外にルーツのある人が地域・職場・学校・家庭などの場で尊厳が守られ、多くの人とつながりながら理解しあい協働できる地域づくりを進めます。

中野を元気にしたいみなさんへ

区民が主体的に計画・実行する活動があちこちで展開される地域づくりをします。また、個人や団体のボランティア活動、行政、企業の社会貢献活動、NPO法人や公益法人などが同じ目線で連携できる中野にします

生きにくさを抱えているみなさんへ

多様性や違いを尊重しあえる地域づくりや、あらゆる差別・偏見や不当な抑圧の解消に取り組みます。誰もが不安や困りごとを一人で抱え込まずにいつでも相談しやすい場や居場所を増やします。セーフティーネットの目をきめ細やかにして安全・安心な社会づくりを進めます。

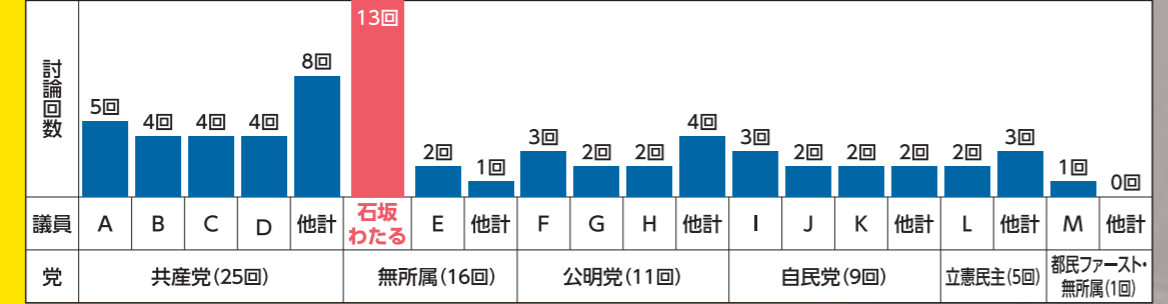


いしざか 石坂わたるの ココロが No.1



本会議場での議案に対する討論回数 No.1

2015年第2回定例会～2018年第4回定例会(2期目)において討論回数13回 予算や決算の認定、中野区政の今後の方向性を定める中野区基本構想、区役所全体の組織を定める中野区組織条例などについて討論をしました。



マスコミ注目度 No.1 取り上げられた回数と主な例

- TBSメディア総合研究所「調査情報」no.547(2019年3-4月号)教育現場における“公立”“私立”の是非
- 「The New York Times」(2015年2月13日/ネット版12日)に渋谷区同性パートナーシップに関してコメント
- 日本経済新聞「インターンで議会身近に NPOの取り組み広がる」(2017年10月8日)にインターンシップについて掲載
- TBSニュース「若手区議らのグループ、児童虐待防止策強化を都知事に要望」(2018年6月15日)
- 朝日新聞社WEB RONZA「LGBT支援ハウスがなぜ必要なのか?生活困窮者にとって深刻な居住環境の問題に対応」(2018年7月30日)

石坂わたるがとりあげられたメディア

- ・[IRISH TIMES](2015年4月4日)「Japanese mayor salutes gay relationships」(2015年4月10日)「生きづらい社会を変える」
- ・週刊女性(2015年5月26日号)「ついに動き始めた「同性婚」の行方」
- ・「季刊アドボカシーNo.2」(2015年10月8日発行)の「特集:動き出すセクシュアルマイノリティの人権政策-多様性を認め合い、誰もが生きやすい社会へ」
- ・月刊誌「都市問題」(2016年5月号)に記事執筆
- ・朝日新聞朝刊(2016年10月23日朝刊)「(日曜に思う)「普通」を考える図書館」
- ・自由時報オンライン版(2016年12月27日)「時力日議員談新政治」
- ・公民新聞オンライン版「婚姻平権熱度雖高同志曙光仍有死角」(2017年2月17日)に取り上げられる
- ・アジア女性資料センター/夜光社(2017年06月発行)「わたしの21世紀」
- ・毎日新聞(2017年7月7日)掲載「LGBT「誰もが自分らしく」自治体議連全国から80人が参加」
- ・NHK首都圏ニュース845(2017年7月7日)「差別解消へLGBTの議員団体が発足」
- ・東京新聞(2017年7月7日)「差別解消推進めざし83人LGBT地方議連発足」
- ・朝日新聞(2018年1月12日)「LGBTの現状と課題」掲載
- ・MXテレビニュース「目黒区女児虐待死で閣僚会議 首相、虐待防止の緊急対策を指示」(2018年6月15日)
- ・MSN(2018年6月15日)「東京・目黒区5歳女児死亡 地元区議ら都知事に提言」
- ・時事ドットコム(2018年7月27日)「杉田氏寄稿に抗議集会」(2018年7月27日)